



区民農園予定地で
開墾作業を行う研
修参加者

岡谷市市民新聞

発行所

〒394-0008 岡谷市本町3
岡谷市市民新聞社

編集・発行人 薩 孝 正

電話 記事23・4449
広告22・8000
購読22・8001
事業22・8002
総務23・4441

FAX 記事22・4444
FAX 広告21・1515

インターネットページ
www.shimin.co.jp
E-mail(記事)
mail@shimin.co.jp
E-mail(広告)
koukoku@shimin.co.jp

©岡谷市市民新聞社 2009年
定価1ヵ月1,690円
1部売り60円 (税込み)

市民新聞の購読申込みや
新聞店への問い合わせは
☎22・8001へ

本紙をお届けする販売店
浜新聞店 ☎22・2383
読売センター岡谷 ☎22・9680
産経新聞岡谷 ☎22・3881
中日新聞大野 ☎22・4129
毎日新聞 ☎22・2835
豊次新聞店 ☎23・0896

□長地地区□
ASA下湯診療所 ☎27・8114
湯島郵便局 ☎27・7802
毎日新聞専売所 ☎28・6014
矢川新聞店 ☎27・3883
中日新聞専売所 ☎28・3632

三沢で区民農園準備進む

「田舎で働き隊！」研修生が開墾

今春市内に先がけ区民農園を開墾する三沢区(山之内寛区長)で、来月のオープンに向け開墾準備が着々と進んでいる。農水省の「田

舎で働き隊！」事業を受け入れた同区に、研修生として募集した地元元六人が二十七日(金)まで一週間の日程で、開墾作業に取り組む、農地として生まれ変わっている。同事業は、農村活性化に向けた人材育成を目的とした国の事業で、海外農業開発協会が地元のNPO「農と人」とくらし研究センター(片倉和人代表)に業務委託。研修生に応募した六人が開墾作業のほか、区内耕作放棄地の現状の地図作成、キノコの菌打ち、

八ヶ岳農業実践大学校でヤギ飼育の学習、ブルーベリー農園の見学を行っている。

二十三日には、研修生六人が天狗様横の山際の遊休農地を、くわや耕運機で耕した。二十年ほど耕作が行われていなかったというだけに、参加者は汗を流しながら大変な様子。三沢出身で神奈川県在住の大学三年生、川尻

健さん(三三)は、「体を動かすのは楽しい。耕作者が高齢化しているなかで、都会の農業の好きな人を招き、若い人を受け入れていくことも必要ではないかと。地元の自営の男性(公名)は、「区民農園には野菜づくりだけでなく、ヤギの飼育やキノコ、桑の実のジャム作りなど夢がある。里山活性化や地域の人の交流にも役に立つのでは」と話していた。

同区は遊休荒廃農地の有効利用をねらい、昨年からは準備を重ね、十力所に約五十畝を用地として確保。すでに

四十人ほどの参加希望者があり、来月正式オープンする。岡谷市も同区の区民農園には注

目しており、他地区の区民農園拡大に支援していく考えを示している。